



▲本證寺境内(南から撮影)



▶聖徳太子絵伝第7幅(部分)①
◀聖徳太子立像②



▶内堀のハス④



▲慶円坐像③

江戸時代
江戸時代の本證寺は、本山である東本願寺と地方の末寺の間に位置づけられた中本山として発展しました。幕末には200以上の末寺を抱え、末寺は三河国だけでなく遠く丹波国(京都府)や越前国(福井県)、江戸(東京都)にもありました。
現在、境内に建つ本堂・鐘楼・鼓楼・経蔵・庫裏などは、本證

鎌倉時代
本證寺の歴史は、浄土真宗を開いた親鸞の没後間もない鎌倉時代後期から始まることも見逃せません。本證寺に伝わる聖徳太子絵伝①や善光寺如来絵伝(ともに国指定重要文化財)はこのころのものと考えられています。普段は東京国立博物館に預けられている聖徳太子立像②(鎌倉時代)も、16年ぶりに安城へ里帰りします。

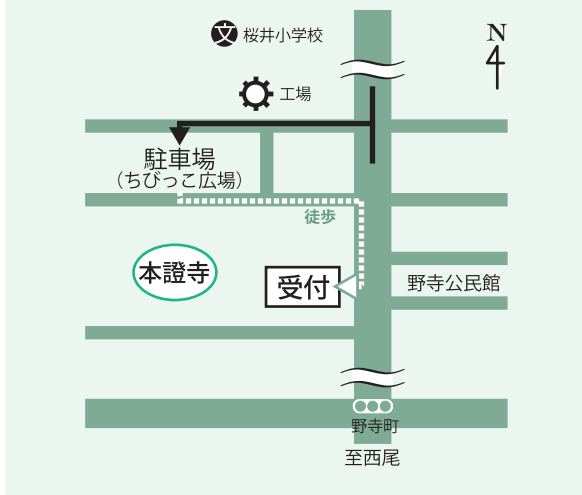
ゴールデンウィークは本證寺へ行こう

安城ふるさとガイドの会のみなさんが、期間中本證寺に常駐して案内をします。

●**とき／ところ** 5月2日(土)～6日(休)午前9時～午後4時／本證寺(野寺町)

●**その他** 駐車場はちびっこ広場を利用できます

●**問い合わせ** 文化振興課(☎〈77〉4477)



現代の本證寺を知る
本證寺を開いた慶円③の命日に行われている行事「オキョウエンサン」の様子や、近年地元の人々の尽力で内堀のハス④を復活させた「ハス再生プロジェクト」なども取り上げます。
今後、安城を代表する史跡として知られていくことになる本證寺を知る、絶好の機会です。

寺が多く末寺を従えていた江戸時代に再建されたものです。写真パネルにより、これらの建造物を取り上げるとともに、本證寺に残された古文書の中から特徴的なものを展示し、この時期の本證寺を振り返ります。

史跡としての本證寺

歴史的価値
本證寺が注目されるのは、戦国時代の堀や土塁が残されている

3月10日、野寺町の本證寺境内が正式に国指定の史跡になりました。歴史博物館ではこれを記念して特別展「三河真宗の名刹 本證寺」を開催します。
●**とき** 4月18日(土)～7月5日(日)午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
●**休館日** 毎週(月)。ただし、5月4日(祝)は開館
●**ところ** 歴史博物館
●**観覧料** 一般↓300円 20人以上の団体↓一人240円
※中学生以下無料。
※常設展も観覧できます。
※5月17日(日)は「国際博物館の日」にちなみ、観覧無料。
※障害者割引あり。

特集1 歴史博物館特別展 三河真宗の名刹 本證寺

るためです。現在も境内を囲んでいる内堀のほかに、江戸時代の絵図などから、かつては野寺町集落の中心部分と本證寺を囲むように外堀があったことは想定されていました。

本證寺の歴史を知る

発掘の成果
近年の発掘調査では、現在もこの外堀が想定どおり、地中に埋まった状態で存在し、その内側には土塁の痕跡も発見されています。二重の堀と土塁に囲まれた様子は、まさしく守り固められた城のようで、永禄6(1563)年から翌年にかけて一向一揆で松平(徳川)家康と戦った本證寺にふさわしいものです。特別展の会場では、実物大の模型で堀の深さを紹介します。



▲発掘調査で見つかった外堀

特別展記念講演会

展示とは違う角度から、本證寺を掘り下げます。史跡指定された理由がわかります。

◆戦国時代の本證寺

●**とき** 5月2日(土)午後2時
●**講師** 安藤弥氏(同朋大学准教授)

◆本證寺と戦国の城

●**とき** 5月17日(日)午後2時
●**講師** 千田嘉博氏(奈良大学学長)

◆本證寺境内の史跡としての価値

●**とき** 6月7日(日)午後2時
●**講師** 佐藤正知氏(文化庁記念物課主任文化財調査官)